

大阪大学「次世代に繋ぐ女性研究者サポート連鎖の形成」 ～22世紀も輝き続ける大阪大学を目指して～

大阪大学では、22世紀において本学の学術・研究がひとときわ輝き、世界屈指の総合大学となることを目指して策定した「大阪大学未来戦略」に基づいて、深い専門性と多様性を有する人材の育成・確保と、その人材が自らの能力を如何なく発揮するための環境整備を進めており、その一環として、平成24年4月に「大阪大学男女共同参画推進基本計画」を策定しました。

大阪大学男女共同参画推進基本計画（24～27年度）

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 男女共同参画に関わる意識啓発の推進 | 2. 女性教職員、女子学生の参画促進 |
| 3. 仕事・学業と出産・育児・介護等との両立の推進 | |
| 4. 男女共同参画に関わる就業・修学環境の整備 | |
| 5. 外部機関・セクターとの連携・交流 | 6. 推進体制の充実 |

<女性教員の採用比率 20%の達成>

25年度1年間における女性教員の採用割合は23.0%となり、基本計画に掲げる“平成27年度までに20%”という目標を前倒しで達成しました。

その結果、女性教員の在職割合も13.5%と、増加傾向にありますが、残念ながら、職階が上がるほど女性の割合が低い、また、プロジェクト雇用における女性教員の採用割合が高いといった傾向も引き続き当てはまる状況となっており、引き続きの取組が必要と考えています。

（参考）女性教員の在職割合 23年度：11.5%、24年度：12.0%、25年度：12.9%、26年度：13.5%

<研究支援員制度の改善・充実>

研究支援員制度は、大学院修了者や学生等を「研究支援員」として雇用し、出産や育児、介護等で研究時間を十分に確保できない研究者の支援を行うことを目的としていますが、それ以外にも、研究支援員が研究現場に触れ、研究活動に携わることで、自らの将来のイメージを思い描く契機とするという目的も有しており、この双方向的な効果により、現在、そして未来永劫にわたって連鎖的に人材の多様性の確保につなげ、本学の教育・研究基盤の発展に寄与していきたいと考えています。

（参考）本年10月現在、25名の研究者に対して32名の研究支援員を配置。

<学内保育園の整備>

教育・研究、学業と育児との両立を支援するため、学内保育園として、吹田キャンパスに「たけのこ保育園」と「まきば保育園」を、豊中キャンパスに「ましかね保育園」を開園しています（本年4月現在、3園合わせた定員は計185名。）。

また、これまで、学内からの要望が多かったものの実現に至らなかった病児・病後児保育室の設置についても、総長のリーダーシップのもと、来年4月の開園を目指して準備が進められています。

<臨時託児室の設置支援>

大阪大学では、会議等の開催に当たって、臨時託児室を設置することを推奨しており、本年4月より、会議等の開催に当たって設置される臨時託児室に対して、設置費用を補助するとともに、会場使用料を免除する取組を始めています（本年10月現在、10件の会議等を採択。）。

上記に加えて、これまでも学内外から指摘のあった男女共同参画の推進体制を強化するため、10月1日付で男女共同参画担当の副学長と理事補佐を任命したところであり、今後、大阪大学における男女共同参画の推進に向けて、大学を挙げた取組の抜本的強化を図っていくこととしています。

【連絡先】大阪大学男女共同参画推進オフィス

TEL：06-6879-4405 FAX：06-6879-4406 E-mail：geoffice-gea@ml.office.osaka-u.ac.jp

URL：http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity

次世代に繋ぐ女性研究者サポート連鎖の形成 ～22世紀も輝き続ける大阪大学を目指して～

大阪大学

大阪大学男女共同参画推進基本計画 (平成24年度～27年度)

実施施策の柱 (平成24年4月18日大阪大学男女共同参画推進委員会了承)

- ①男女共同参画に関わる意識啓発の推進
- ②女性教職員、女子学生の参画促進
- ③仕事・学業と育児・介護等との両立の推進
- ④男女共同参画に関わる就業・修学環境の整備
- ⑤外部機関・セクターとの連携・交流
- ⑥推進体制の充実

◆意識啓発の推進

◇シンポジウム・セミナーの開催 等



◆女性教職員・女子学生の参画の促進

◇女性教員の採用比率について数値目標
(H27年度までに20%を達成)

→H25年度に前倒しで達成。
(H23 : 15.7% → H25 : 23.0%)

◇女性教授・准教授の採用・昇任について、
戦略的にポスト等を配分する仕組みの導入。

◇男女共同参画担当の副学長と理事補佐を任命(H26.10.1)。

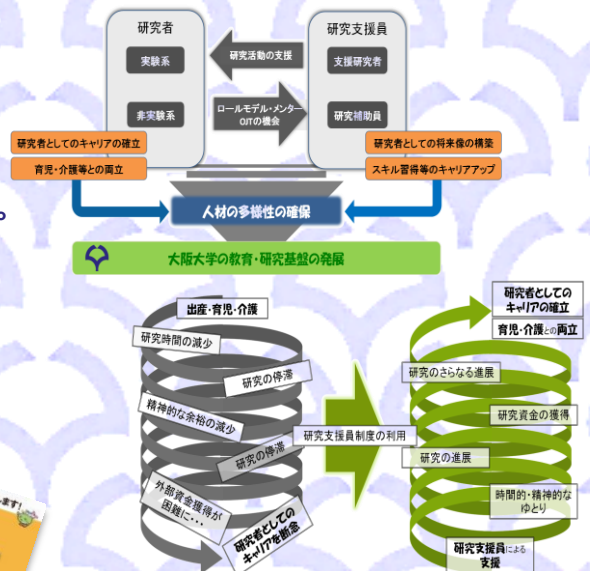
→推進体制の抜本強化に向けて検討。

◆ワーク・ライフ・バランスの実現

◇研究支援員制度

出産・育児・介護等で、研究時間を十分に確保できない研究者への支援を行うため、学生などを「研究支援員」として雇用。

研究者の支援と次世代の研究者の育成を両輪の輪として推進。→**これまでに延べ 194人の研究者を支援。**

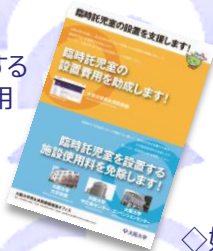


◇学内保育園

教職員・学生が利用。豊中キャンパスに「まちかね保育園」が開園し、3保育園で計185名を受入れ。また、H27年4月の開園を目指して病児・病後児保育室の設置準備中。

◇臨時託児室

会議の開催に伴う臨時託児室の設置を助成するとともに、臨時託児室を設置する場合の施設使用料を減免する制度を導入。



大阪大学保育園キャラクター



◇妊婦健診・サポート外来の予約支援

女性教職員を対象に、医学部附属病院において、妊婦健診や外来診察の予約支援を実施。

◇電動さく乳器のレンタル

大学では初の取組として電動さく乳器の貸出を実施。

などなど...

【連絡先】 大阪大学男女共同参画推進オフィス

[TEL]06-6879-4405 [FAX]06-6879-4406 [Email]geoffice-gea@ml.office.osaka-u.ac.jp
[URL]http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity/gender